

平成 28 年度 病院事業計画について

- 1) 病院事業計画のまとめ
- 2) 直近 5 年の経営実績



平成29年10月1日

荒尾市民病院 経営企画課

資料内の目標数値等については、
第二期 中期経営計画と一部異なる
ところがございます

◆目次

1章 病院事業計画のまとめ

*年度当初の目標値と実績の比較

1) 主な取り組み 【1】

2) 医業収益の確保 【2】

i) 患者数等

ii) 診療単価のUP

3) 経営の効率化 【4】

i) 人件費の適正化

ii) 材料費の削減

iii) 戦略的経営の実施

2章 直近5年の経営実績

*黒字自治体病院との比較（医業利益がある病院）

1) 主な経営指標の推移（グラフ） 【7】

2) 診療実績 【13】

3) 決算状況 【14】

*主な数値は決算統計を基に算出しています。

1章 病院事業計画のまとめ

1) 主な取り組み

総 評

今年度の主な取り組みとして、下記の4つを主に実践し、結果を残す事ができたと考え

る。
また、経営においては平成21年度より毎年単年度黒字を計上しており（平成26年度は会計制度の変更により赤字であったが、実質黒字である。）、本年度は前年度と比べ入院収益で約268,512千円、外来収益で約99,244千円の増収があり、410,546千円の純利益を計上することができた。

累積欠損金は、平成20年度に最大4,255,501千円あったが、毎年度順調に解消しており、本年度末には1,263,919千円となった。

今後は本年に策定した第二期中期経営計画を基に、地域完結型医療の提供体制の維持、また新病院建設へ向けて、収益の確保と費用削減を徹底し、経営の健全化を目指す。

1)第二期 中期経営計画

地域医療構想と新病院建設を踏まえて・・・

公立病院改革ガイドラインを基に、第一期中期経営計画を策定し経営改革をおこなった。この経営改革により平成21年度以降毎年黒字化を達成することができた。また、総務省より示された新・公立病院改革ガイドラインを基に、地域医療構想及び新病院建設を踏まえ、当院の平成28年度から平成32年度の5ヵ年計画を策定した。

当年の実績としては、医業収入の増加や建設の延期の影響もあり、計画以上の純利益を計上することができ、不良債務、資金不足比率(地財法上)を解消することができた。

2)職員確保

医師数50名熱望

将来職員の確保

医師については、循環器内科及び救急科の常勤医師が各1名入職し、合計医師数が38名となった。また、基幹型臨床研修病院として2名、協力型として9名の研修医を受け入れることができた。

そのほか、奨学金制度活用において、奨学生として医学生8名、看護学生10名への貸付けを継続しているところである。

3)患者数の増加

連携医療機関へ情報提供訪問

平成27年度期中から平成28年度に荒尾市、大牟田市、長洲町、玉名市の医療機関へ、地域医療連携の強化、開放型病床利用、大型機器共同利用に関する協力依頼の訪問挨拶を実施したこともあり、紹介患者数が月平均 58.8人増加（紹介率8.0%増）、逆紹介患者数が 50.2人増加（逆紹介率20.9%増）につながり、患者数及び医業収益を増加させることができた。

4)人事評価制度導入

職員のモチベーションアップ

今年度は地方公務員法改正に基づく、平成27年度の人事評価制度の試行期間を経て、本格的な評価の実施、給料への反映を実施した。

次年度からも病院事業計画の実践により、良い部分は発展させ、改善すべき点は速やかに改善を図り、職員の業務遂行意欲の向上を図るとともに、より質の高い医療の提供ができるよう制度の充実を図る。

1章 病院事業計画のまとめ

2) 医業収益の確保

i) 患者数等

区分	平成27年 実績 A	平成28年 目標 B	平成28年 実績 C	前年実績 対 差引 C-A	目標 対 差引 C-B
入院患者数	225.7 人/日	237.0 人/日	227.5 人/日	1.8 人/日	△ 9.5 人/日
新規入院患者数	3,706 人	—	3,876人	—	—
年間平均在院日数	16.7	15日未満	16.0日	▲0.7日	1.0日
入院診療単価	44,270円	45,073円	47,288円	3,018円	2,215円
外来患者数	359.3 人/日	369.0 人/日	370.0 人/日	10.7 人/日	1.0 人/日
外来診療単価	16,852円	17,259円	17,400円	548円	141円
病床利用率(274床)	82.4%	86.1%	83.0%	0.6%	△3.1%
(256床)	88.2%	92.2%	88.6%	0.4%	△3.6%

*274床・・・許可病床 *256床・・・実稼働病床

入院患者については、循環器科、救急科の両科で医師1名が増加したことなどにより、一日平均患者数は昨年実績に対して1.8人/日上回り227.5人/日と増加したが、予算目標である237.0人は下回った。新規入院患者数は、昨年実績に対して170人増加し3,876人と上回った。

平均在院日数は、昨年実績に対して0.7日短縮し、16.0日となったが、目標の15日未満には及ばなかった。

入院単価は同様に、昨年実績に対して3,018円の増加、さらに目標に対しても2,215円増加となり目標を超える結果となった。

病床利用率は、平均在院日数を短縮させつつ毎年順調に増加しているが、目標を約4%下回っているため、今後一日平均入院患者数を8.5人程度増加させる必要がある。

外来患者は、昨年実績に対して10.7人/日上回り370.0人/日となり、目標である369人を達成している。

外来単価においては、昨年実績に対して548円、目標に対しても141円の増となった。

1章 病院事業計画のまとめ

2) 医業収益の確保

ii) 診療単価のUP

①DPCの機能評価係数UP

区分		H27.4	H28.4	H29.4	前年増減
基礎係数		1.0276	1.0296	1.0296	-
暫定調整係数		0.0446	0.0199	0.0199	-
機能評価係数Ⅱ	小計	0.04875	0.06538	0.06550	0.0001
機能評価係数Ⅰ	小計	0.2061	0.2027	0.2107	0.0080
合計		1.3271	1.3176	1.3257	0.0081
参考	公立玉名中央病院	1.3267	1.3353	1.3296	▲ 0.0057
	大牟田市立病院	1.3829	1.3915	1.3820	▲ 0.0095
	公立八女総合病院	1.3540	1.3866	1.3991	0.0125
	筑後市立病院	1.3201	1.3198	1.3109	▲ 0.0089
	福岡市民病院	1.3503	1.3380	1.3413	0.0033

平成28年度には、医療機関別係数において機能評価係数Ⅱでは地域医療指数のUPを狙い、脳卒中地域連携の項目を取得する事ができた。さらに、機能評価係数Ⅰの上位加算である医師事務作業補助体制加算1（15：1）を取得し0.008ポイント増加させることができた。

さらに、平成29年度に向けて、病棟薬剤業務実施加算1取得の取組みを実施し無事取得した。

また、参考で示したように同規模病院は減少傾向であるが、当院は少しでも伸ばすことができた。今後も、暫定調整係数の廃止や達成数値の変更などへの対応、係数維持や上位加算の積極的な取得を他病院との比較などしながら実施する。

②在院日数の短縮

(日)

区分	H27	H28目標	H28	前年増減
平均在院日数	16.7	15日未満	16.0	▲ 0.7
新規入院患者（人）	3,706	-	3,876	170
退院患者数（人）	3,714	-	3,878	164

本年度は、前年と比較して新規入院患者数は170人、退院患者数は164人と共に増加している。

さらに、平均在院日数も昨年より0.7日の短縮となり16.0日となり、毎年短縮する事が出来ているが、目標数である15日未満には1.0日及ばなかった。

今後はさらに新規入院患者数の増、病床利用率の維持と両方を考慮し急性期病院としてベッドを効果的・効率的に稼働させなければならない。

1章 病院事業計画のまとめ

3) 経営の効率化

i) 人件費の適正化

①人事評価制度導入、人材の育成

今年度は地方公務員法に基づき、平成27年度に人事評価制度の試行期間に取組み、平成28年度より本格実施を開始した。平成28年度上期、下期においてそれぞれ人事評価を実施した結果は下記に示したとおりである。

評価期間	評価対象者	評価終了者
平成28年度 上期	293 人	284 人
平成28年度 下期	285 人	279 人

対象職員と評価終了職員との差異は、病気休暇・休業や育児休業等の理由により、評価実施時期に不在であった者であり、評価を終了すべき職員は上期、下期ともに全員終了した。

人事評価制度は、当院の職員について、業務で発揮した能力、実績等を適正に評価し、その結果を給与等に反映するとともに、良い部分は発展させ、改善すべき点は速やかに改善を図り、職員の業務遂行意欲の向上を図ることを目的としている。これにより、荒尾市民病院の発展を目指し、今後も市民に愛され信頼される医療機関としてあり続けたい。

②労働環境面、経営面からの時間外勤務の縮減

近年は、当院においても、子育てや介護などの事情により、時間的な制約を抱えながら働く職員も増加しており、本年度は労働環境の中でも長時間労働の是正などをはじめとしたワーク・ライフ・バランスの推進に注力してきた。

10月1日には、『荒尾市民病院子育て支援行動計画』として5ヶ年計画を施行した。これは職員の意識向上や休暇取得の促進、時間外勤務の縮減等を図るための取組計画を実施するというものである。また、制度についての職員の認識を高めるため、仕事と家庭の両立支援制度についてのハンドブック等を配布した。このような取り組みにより制度利用者も増加する中、時間外勤務の縮減については、下記の結果に留まった。当初、全体で金額が5%減を目標としていたが、震災対応費用を除外した場合でも、0.52%増となった。

今後は、特に、目標未達成に終わった部署について、業務の効率化を図るような工夫、また職員の意識啓発に取り組むたい。

(円)

区分		H27	H28目標	H28	前年増減	
		時間数	63,159時間	—	63,306時間	—
合計	金額	196,710,931	5%減	197,741,837	0.52%	1,030,906
医局		102,536,460	5%減	93,596,292	▲9.55%	▲8,940,168
看護部		55,838,513	5%減	63,419,866	11.95%	7,581,353
診療技術部		31,489,193	5%減	34,782,821	9.47%	3,293,628
事務部		5,677,064	5%減	5,256,687	▲8.00%	▲420,377
福祉職		1,169,701	5%減	686,171	▲70.47%	▲483,530

* (超過+休日+祝日)

*熊本地震対応への超過勤務手当等は除く

1章 病院事業計画のまとめ

3) 経営の効率化

ii) 材料費の削減

①薬品費削減

(円)

区分	H27	H28目標(予算)	H28	前年増減
値引率	15.0%	16.0%	14.3%	▲ 0.7%
後発品医薬品目割合	23.2%	30%以上	26.2%	3.0%
後発品医購入金額割合	10.8%	-	9.8%	▲ 0.9%
後発品使用量割合	67.3%	80%以上	81.2%	13.9%
医業収益比率(薬品)	13.1%	14.0%	13.2%	0.1%
薬品費	719,359,240	(815,000,000)	771,871,511	52,512,271
医業収益	5,481,070,232	(5,813,887,000)	5,863,678,457	382,608,225

価格交渉による値引率は14.3%となり前年より0.7%減ったが、薬品費の医業収益比率が0.1%の増加に止まっており、使用量を考慮すると前年と同等の薬品比率であった。また、今年は薬価改定の年であり値引率が伸ばせなかったが、次年度は昨年度の数字を超えて目標の数字に近づける見込みである。

また、平成30年度の診療報酬改定を見越した後発品使用量割合目標の80.0%については、改定時の算定期間(平成28年10月より)で84.7%と現状で十分達成することができている。今後も継続して後発医薬品の割合、使用量共に増やし、薬品費の医業収益比率をさらに減らしていく必要がある。

②材料費の医業収益比率

区分	H27	H28目標(予算)	H28	前年増減
材料費	1,139,464,855	(1,237,312,000)	1,266,811,949	127,347,094
うち薬品費	719,359,240	(765,407,000)	771,871,511	52,512,271
うち診療材料費	409,200,190	(416,486,000)	485,247,170	76,046,980
医業収益	5,481,070,232	(5,813,887,000)	5,863,678,457	382,608,225
医業収益比率：材料	20.8%	21.3%	21.6%	0.8%
うち薬品	13.1%	13.2%	13.2%	0.1%
うち診療材料	7.5%	7.5%以下	8.3%	0.8%

材料費の額としては、予算を大幅に超える費用となり、前年と比べると薬剤費で約5,200万円、診療材料費は7,600万円の増加となったが、医業収益が前年と比べ約4億円増加しており、材料費の医療収益比率は21.6%と0.8%の増加に止まった。

また、診療材料の医業収益比率の0.8%の増加に関しては、特定の材料(償還価格に対して材料費比率が高い物：ペースメーカー、カテーテル類)の増加に伴うものであり、利益は確実に増加している。

今後は、材料の価格交渉を積極的に実施し、医療収益比率を抑え利益率の向上を目指さなければならない。

1章 病院事業計画のまとめ

3) 経営の効率化

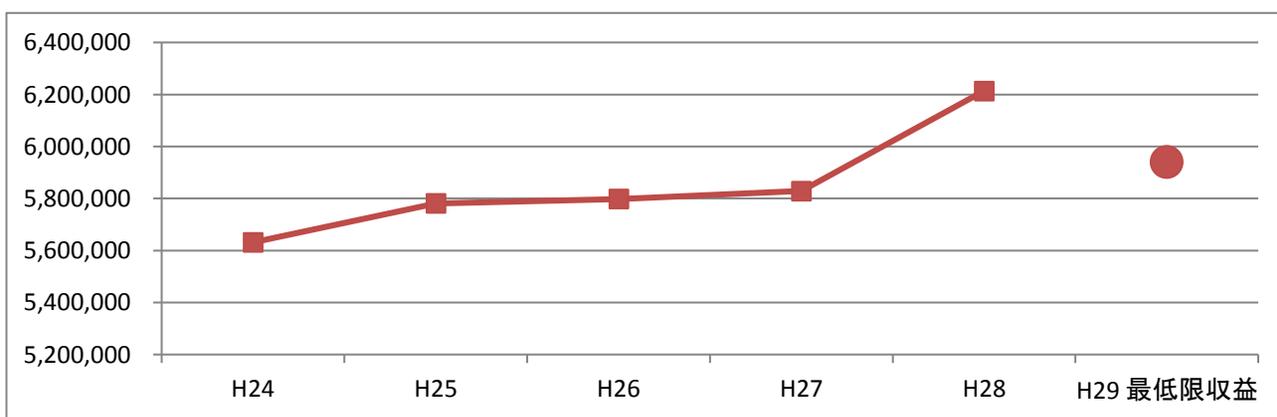
iii) 戦略的経営の実施

H29目標純利益 115,631千円

損益分岐点の分析による次年度の経常収益管理

(千円)

区分	H24	H25	H26	H27		H28	H29 最低限必要 な収益
				当院	黒字病院 (274床)		
経常収益	5,631,386	5,781,072	5,798,250	5,828,884	7,762,045	6,213,189	5,940,132
変動費	1,207,344	1,094,203	1,137,180	1,139,465	2,000,621	1,266,812	1,187,041
固定費	4,193,567	4,392,829	4,369,698	4,501,581	5,505,389	4,533,363	4,533,363
限界利益	4,424,042	4,686,869	4,661,070	4,689,419	5,761,424	4,946,377	4,753,091
経常利益	230,475	294,040	291,372	187,838	256,036	413,015	0
限界利益率	78.6%	81.1%	80.4%	80.5%	74.2%	79.6%	
損益分岐点	5,338,013	5,418,385	5,435,791	5,595,403	7,417,103	5,694,398	
FM比率	94.8%	93.7%	93.7%	96.0%	95.6%	91.7%	



平成27年度決算額より損益分岐点の分析を実施している。

過去の分析を実施した結果過去5年の限界利益率の平均は80.0%となり、翌年度以降この数字を基に上半期の決算状況等の評価、翌年度の予算作成に役立てたいと考える。

また、限界利益率が高いほうが経営的には利益が上がりやすいため、固定費の削減や変動費率(率)の削減に力を入れる必要がある。なお、全国黒字病院と比較しても、約5%高い結果となり、効率的に経営ができています。

また、FM比率であるが平成27年度のFM比率に比べ本年度は91.7%と4.3%も改善し、黒字病院と比較しても利益が出やすい経営状況へなっている。

しかし、経常収益には繰入金約5億円計上されており、他黒字病院と比較しても約150%増しで繰入額ある状況での経営である。その為、今後はさらに利益を増やすことができるような経営体質にする必要がある。

なお、平成29年度の目標を達成するために、医業収益5,940,132千円を必ず確保しなければならない。

【固定費】患者の増加に関係なく必要な費用(給与費、経費、研究研修費・・・等)

【変動費】上記以外の患者数により増加する費用(材料費)

【限界利益】患者数が0人の時でも、最低限必要な金額(経常収益-変動費)(利益+固定費)

【限界利益率】売上高に対する限界利益の割合であり、率が高いほど利益が増加

【FM比率】固定費の限界利益に対する比率であり、率が低いほど効率的な経営

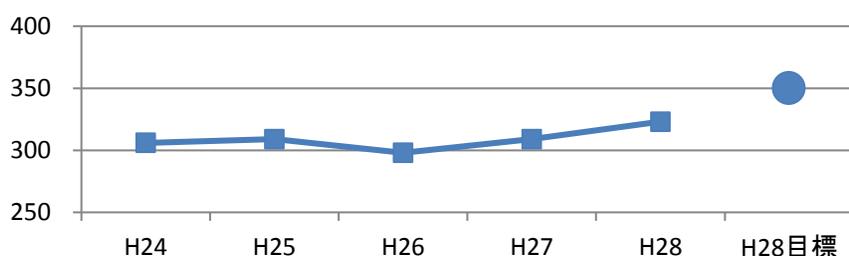
2章 直近5年の経営実績

1) 主な経営指標の推移

(1) 新規入院患者数の増加

(人/月)

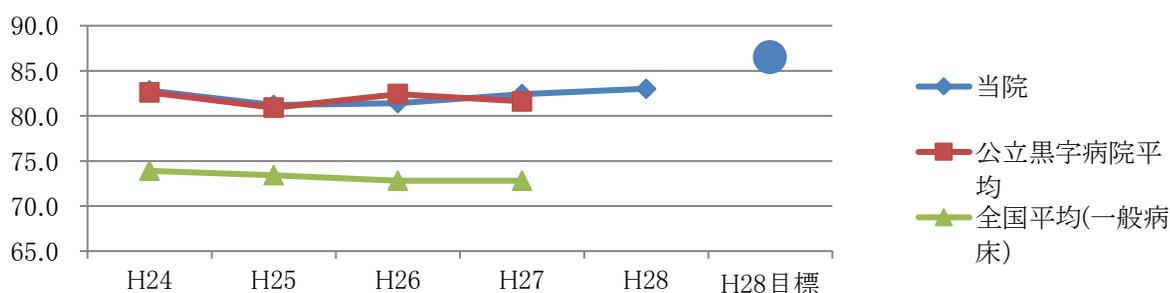
区分	H24	H25	H26	H27	H28	H28目標
月平均	306	309	298	309	323	350



(2) 病床利用率 (274床)

(%)

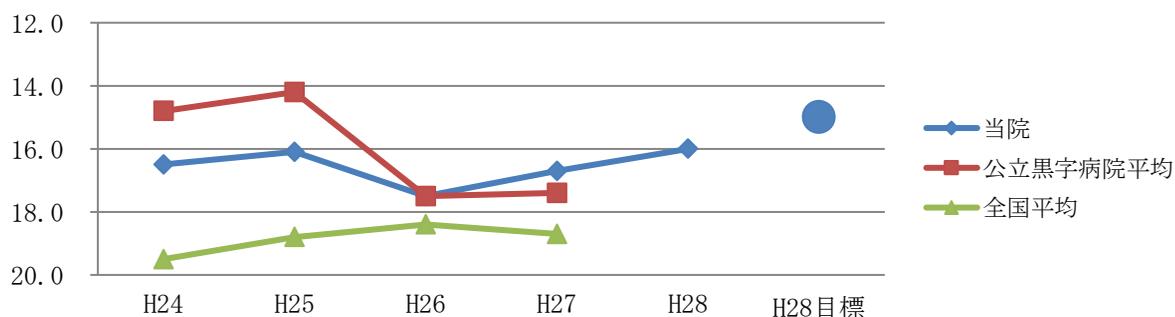
区分	H24	H25	H26	H27	H28	H28目標
当院	82.8	81.2	81.4	82.4	83.0	86.5
公立黒字病院平均	82.6	80.9	82.4	81.6	-	-
全国平均(一般病床)	73.9	73.4	72.8	72.8	-	-



(3) 平均在院日数(一般病床のみ)

(日)

区分	H24	H25	H26	H27	H28	H28目標
当院	16.5	16.1	17.5	16.7	16.0	15.0
公立黒字病院平均	14.8	14.2	17.5	17.4	-	-
全国平均	19.5	18.8	18.4	18.7	-	-



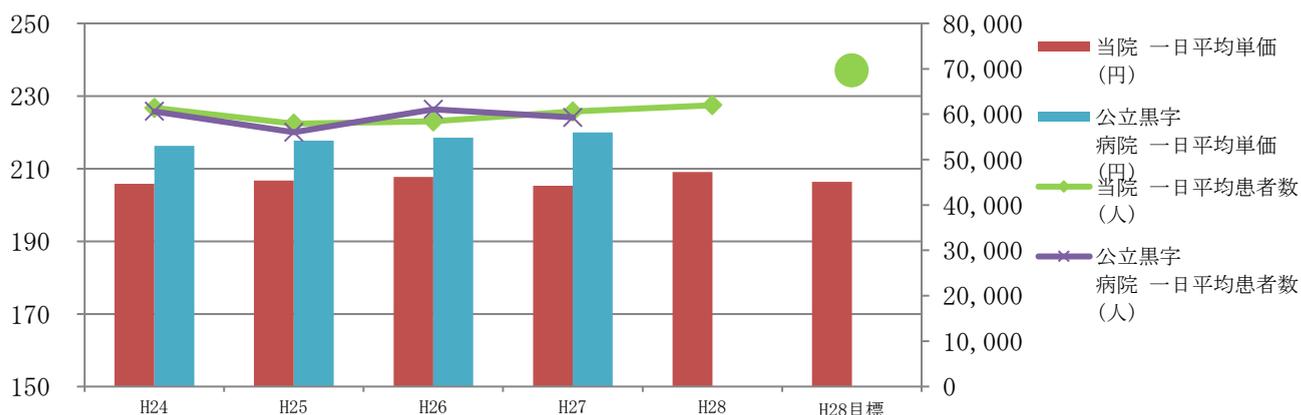
2章 直近5年の経営実績

1) 主な経営指標の推移

(4) 入院患者数等

* 公立黒字病院は274床換算

		H24	H25	H26	H27	H28	H28目標
当院	一日平均患者数(人)	226.7	222.4	223.1	225.7	227.5	237.0
	一日平均単価(円)	44,646	45,399	46,154	44,270	47,288	45,073
公立黒字病院	一日平均患者数(人)	225.8	220.0	226.3	224.2	-	-
	一日平均単価(円)	53,014	54,168	54,845	55,962	-	-

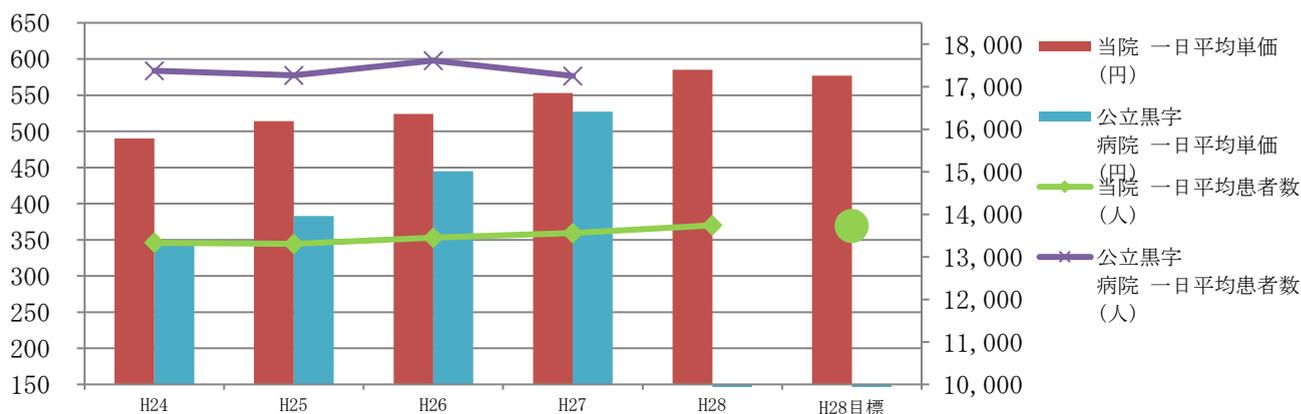


(5) 外来患者数等

* 公立黒字病院は274床換算

		H24	H25	H26	H27	H28	H28目標
当院	一日平均患者数(人)	346.0	344.4	353.0	359.3	370.0	369.0
	一日平均単価(円)	15,785	16,191	16,360	16,852	17,400	17,259
公立黒字病院	一日平均患者数(人)	584	577	598	577	-	-
	一日平均単価(円)	13,284	13,962	15,014	16,414	-	-

* 本院の特性である医師会との役割分担 (2次救急以上等) を重要視している為、患者数は少ない傾向にある。



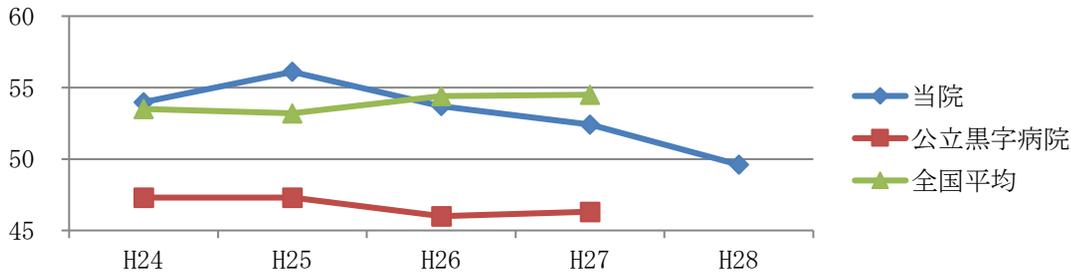
2章 直近5年の経営実績

1) 主な経営指標の推移

(6) 職員給与費対医業収益比率 (%)

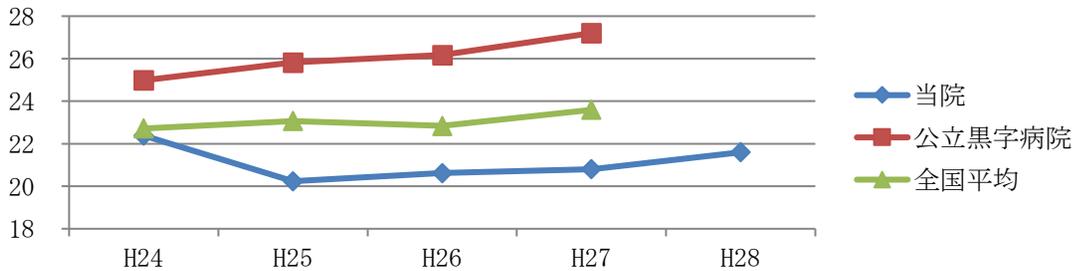
区分	H24	H25	H26	H27	H28
当院	54.0	56.1	53.7	52.4	49.6
公立黒字病院	47.3	47.3	46.0	46.3	-
全国平均	53.5	53.2	54.4	54.5	-

*決算統計上の給与とは、週労働時間が38.75時間の職員のみ(勘定科目とおり:57.4%)



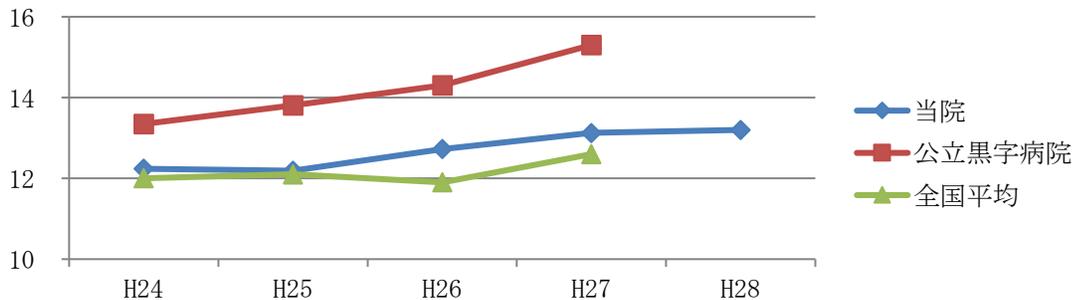
(7) 材料費対医業収益比率 (薬品含む) (%)

区分	H24	H25	H26	H27	H28
当院	22.4	20.2	20.6	20.8	21.6
公立黒字病院	25.0	25.8	26.2	27.2	-
全国平均	22.7	23.1	22.8	23.6	-



(8) 薬品費対医業収益比率 (%)

区分	H24	H25	H26	H27	H28
当院	12.2	12.2	12.7	13.1	13.2
公立黒字病院	13.3	13.8	14.3	15.3	-
全国平均	12.0	12.1	11.9	12.6	-



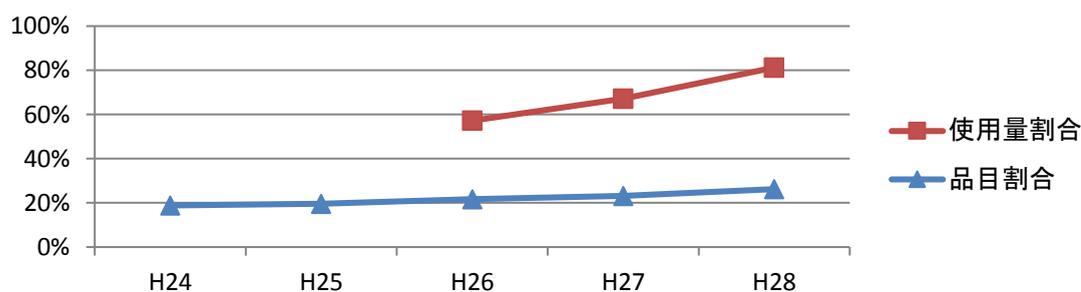
2章 直近5年の経営実績

1) 主な経営指標の推移

(9) 後発医薬品の採用品目割合

(品)

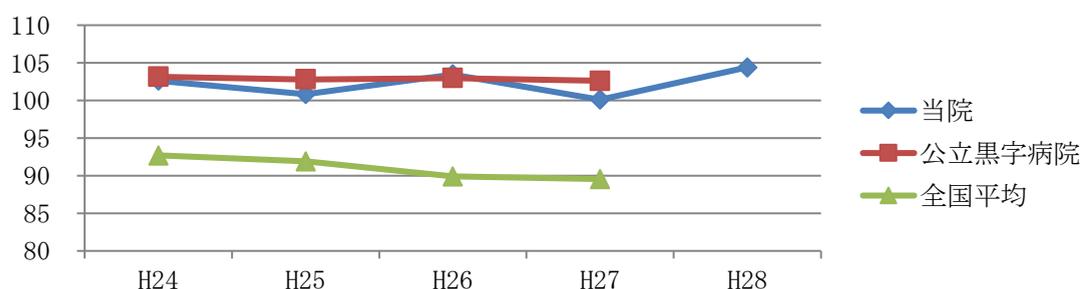
区分	H24	H25	H26	H27	H28
採用医薬品	1,614	1,664	1,646	1,574	1,575
うち後発医薬品	304	326	356	365	413
品目割合	18.8%	19.6%	21.6%	23.2%	26.2%
後発品のある先発品使用量	-	-	408,234	331,317	173,988
後発品の使用量	-	-	546,325	677,139	752,129
使用量割合	-	-	57.2%	67.1%	81.2%



(10) 医業収支比率

(%)

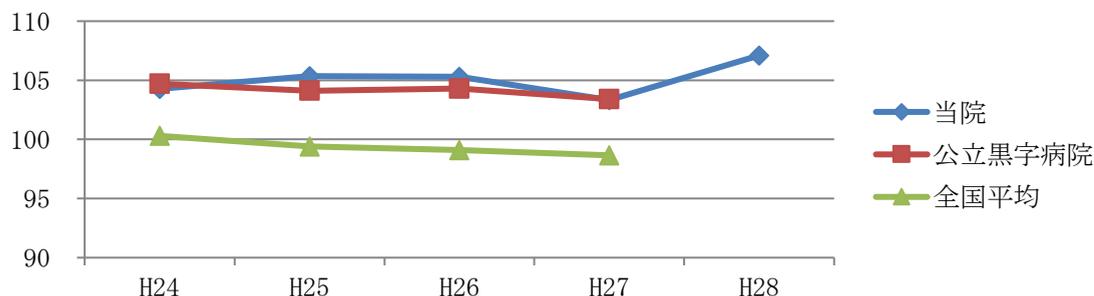
区分	H24	H25	H26	H27	H28
当院	102.6	100.8	103.4	100.1	104.4
公立黒字病院	103.1	102.8	103.0	102.6	-
全国平均	92.7	91.9	89.9	89.5	-



(11) 経常収支比率

(%)

区分	H24	H25	H26	H27	H28
当院	104.3	105.4	105.3	103.3	107.1
公立黒字病院	104.7	104.1	104.3	103.4	-
全国平均	100.3	99.4	99.1	98.7	-

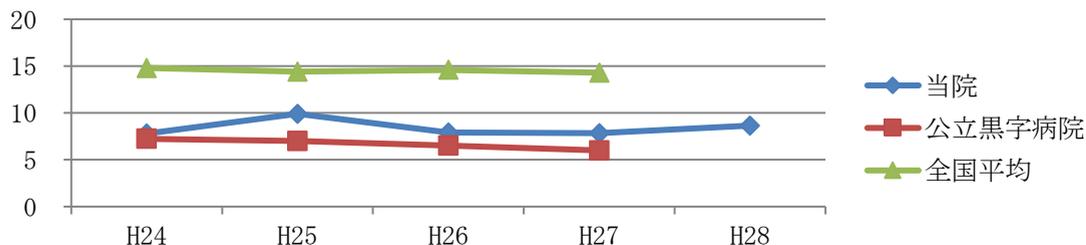


2章 直近5年の経営実績

1) 主な経営指標の推移

(12) 他会計繰入金対医業収益比率 (%)

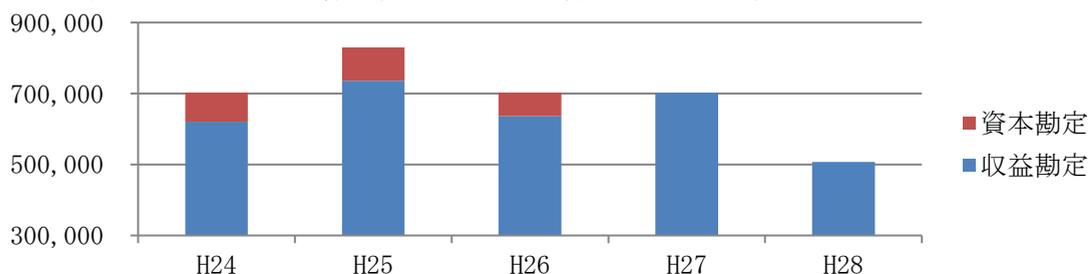
区分	H24	H25	H26	H27	H28
当院	7.8	9.9	7.9	7.8	8.6
公立黒字病院	7.2	7.0	6.5	6.0	-
全国平均	14.8	14.4	14.6	14.3	-



(13) 他会計からの繰入状況 (千円)

区分	H24	H25	H26	H27	H28
収益勘定	620,593	735,732	636,616	702,147	506,961
資本勘定	81,631	93,927	65,721	0	0
合計	702,224	829,659	702,337	702,147	506,961

*H28年より特例債償還に伴い、特例債(約2億円)に対する繰入金の減少

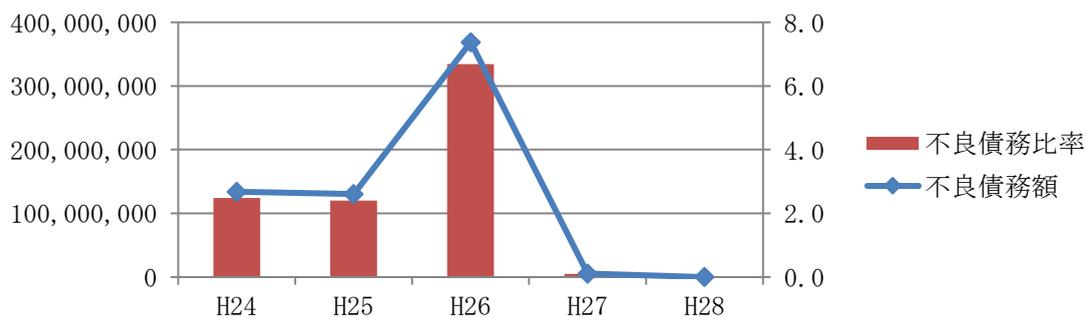


(14) 不良債務の推移 (円)

区分	H24	H25	H26	H27	H28
不良債務額	133,841,659	130,125,803	368,807,197	5,537,464	-
不良債務比率	2.5	2.4	6.7	0.1	-

H28で解消

*H26は、会計制度の変更に伴う増加であり、実質は減少している

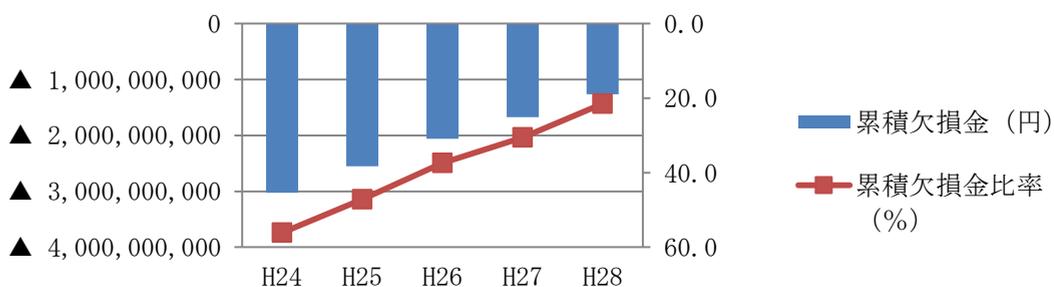


2章 直近5年の経営実績

1) 主な経営指標の推移

(15) 累積欠損金

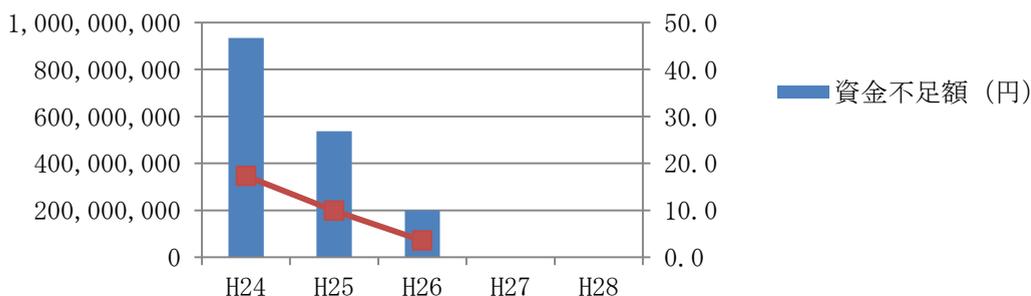
区分	H24	H25	H26	H27	H28
累積欠損金 (円)	▲ 3,027,526,591	▲ 2,550,313,460	▲ 2,061,464,181	▲ 1,674,464,687	▲ 1,263,919,184
累積欠損金比率 (%)	56.1	47.2	37.4	30.5	21.6



(16) 資金不足比率(地財法上)

区分	H24	H25	H26	H27	H28
資金不足額 (円)	934,151,659	537,137,710	199,515,939	-	-
資金不足額比率 (%)	17.3	9.9	3.6	-	-

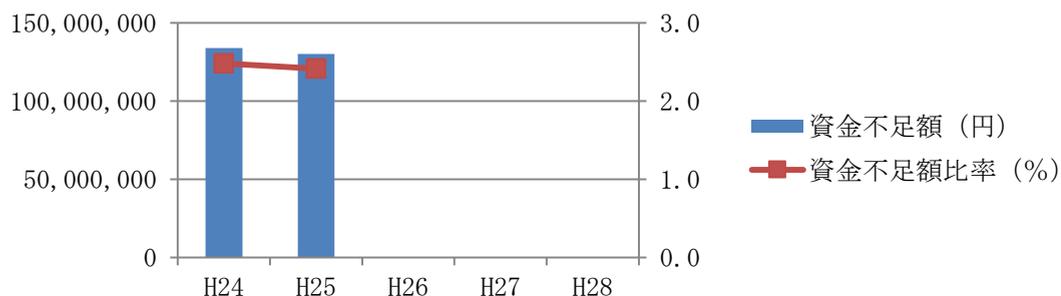
H27で解消



(17) 資金不足比率(健全化法上)

区分	H24	H25	H26	H27	H28
資金不足額 (円)	133,841,659	130,125,803	-	-	-
資金不足額比率 (%)	2.5	2.4	-	-	-

H26で解消



2章 直近5年の経営実績

2) 診療実績

区分	H24実績	H25実績	H26実績	H27			H28実績		
				当院実績	黒字病院	差			
病床100床当たり医業収益(千円)	入院収益	1,348,492	1,344,881	1,371,419	1,334,941	1,675,634	▲ 340,693	1,432,938	
	外来収益	488,297	496,547	514,271	534,760	842,730	▲ 307,969	570,981	
	その他医業収益	131,899	131,960	127,403	130,689	126,934	3,756	136,110	
	内室料差額収益	4,405	4,477	4,354	4,674	25,846	▲ 21,172	4,524	
	計	1,968,688	1,973,388	2,013,093	2,000,391	2,645,297	▲ 644,907	2,140,029	
病床利用率(%)	一般	84.0	82.3	82.6	83.6	86.0	▲ 2.4	84.2	
	感染症	0.0	7.3	0.0	0.0	0.4	▲ 0.4	0.0	
	計	82.8	81.2	81.4	82.4	81.6	0.8	83.0	
1日平均患者数(人)	入院	226.7	222.4	223.1	225.7	224.8	1	227.5	
	外来	346.0	344.4	353.0	359.3	521.4	▲ 162	370.0	
患者1人1日当たり診療収入(円)	入院	44,646	45,399	46,154	44,270	55,962	▲ 11,692	47,288	
	外来	15,785	16,191	16,360	16,852	16,414	438	17,400	
平均在院日数(一般病床のみ)	16.5	16.1	17.5	16.7	17.5	▲ 0.8	16.0		
医師1人1日当たり診療収入(円)	413,610	414,722	404,414	362,817	321,020	41,797	395,871		
看護師1人1日当たり診療収入(円)	54,348	55,049	56,295	70,750	72,909	▲ 2,159	75,616		
病床100床当たり職員数(人)	医師	12.0	13.1	12.8	13.9	21.3	▲ 7	13.9	
	看護部門	看護師	78.4	77.0	78.0	75.5	83.2	▲ 8	74.5
		准看護師	3.3	3.2	4.4	0.0	1.9	▲ 2	0.0
		看護助手	8.5	9.6	9.1	0.0	7.5	▲ 8	0.0
	薬剤部門	3.3	3.4	2.9	3.6	4.6	▲ 1	3.6	
	事務部門	16.2	19.0	22.2	9.5	14.2	▲ 5	9.5	
	給食部門	1.1	1.1	1.1	1.1	2.8	▲ 2	1.1	
	放射線部門	4.4	4.4	4.4	4.7	4.5	0	4.7	
	臨床検査部門	6.1	6.8	6.4	5.1	5.8	▲ 1	5.1	
	その他	9.1	11.3	14.3	17.5	11.4	6	17.9	
計	142.4	148.8	155.6	131.0	157.2	▲ 26	130.3		
平均年齢	事務職員	37.2	39.0	40.6	39.9	43.0	▲ 3.1	40.9	
	医師	49.1	49.0	46.4	45.5	44.0	1.5	45.9	
	看護師	39.2	39.2	38.4	38.9	38.0	0.9	39.2	
	准看護師	56.0	56.0	-	-	52.0	-	-	
	医療技術員	35.7	36.1	35.3	37.1	40.0	▲ 2.9	34.9	
	その他職員	-	-	-	28.4	47.0	▲ 19	31.0	
	計	39.3	39.5	38.7	39.0	40.0	▲ 1.0	38.9	

* 黒字病院：自治体病院のうち医業利益がある病院

* 職員数については、週労働時間が38.75時間の方が対象

* 職員数【その他】：リハビリテーション科、臨床工学科、社会福祉士、精神福祉士、介護士・・・等

2章 直近5年の経営実績

3) 決算状況

区分	H24実績		H25実績		H26実績		H27実績			H28実績		
	(100床当)		(100床当)		(100床当)		(100床当)			(100床当)		
	当院	黒字病院	差	当院	黒字病院	差	当院	黒字病院	差	当院	黒字病院	差
經常収益 A	5,631,386	2,055,250	5,781,072	2,109,880	5,798,250	2,116,150	5,828,884	2,127,330	2,832,863	▲ 705,533	6,213,190	2,267,588
医業収益 a	5,394,204	1,968,688	5,407,082	1,973,388	5,515,874	2,013,093	5,481,070	2,000,391	2,645,297	▲ 644,907	5,863,679	2,140,029
うち料金収入 (b+c)	5,032,802	1,836,789	5,045,511	1,841,427	5,166,791	1,885,690	5,122,981	1,869,701	2,518,364	▲ 648,662	5,490,737	2,003,919
入院収益 b	3,694,869	1,348,492	3,684,973	1,344,881	3,757,689	1,371,419	3,657,738	1,334,941	1,675,634	▲ 340,693	3,926,250	1,432,938
外来収益 c	1,337,933	488,297	1,360,538	496,547	1,409,102	514,271	1,465,243	534,760	842,730	▲ 307,969	1,564,487	570,981
うち他会計繰入金 d	217,126	79,243	214,290	78,208	204,654	74,691	213,390	77,880	49,875	28,005	217,779	79,481
医業外収益	237,182	86,563	373,990	136,493	282,376	103,057	347,814	126,939	187,566	▲ 60,626	349,511	127,559
うち他会計繰入金 e	203,467	74,258	321,442	117,315	231,962	84,658	288,757	105,386	108,818	▲ 3,432	289,182	105,541
經常費用 B	5,400,911	1,971,135	5,487,032	2,002,566	5,506,878	2,009,809	5,641,046	2,058,776	2,739,420	▲ 680,644	5,800,175	2,116,852
医業費用 f	5,256,353	1,918,377	5,361,810	1,956,865	5,332,139	1,946,036	5,473,155	1,997,502	2,577,905	▲ 580,404	5,617,881	2,050,322
うち職員給与費 g	2,911,716	1,062,670	3,035,910	1,107,996	2,960,073	1,080,319	2,872,930	1,048,515	1,223,941	▲ 175,426	2,908,470	1,061,485
うち材料費	1,207,345	440,637	1,094,203	399,344	1,137,180	415,029	1,139,465	415,863	730,154	▲ 314,290	1,266,812	462,340
うち減価償却費 h	267,305	97,557	274,700	100,255	293,819	107,233	267,362	97,577	171,496	▲ 73,918	233,975	85,392
うち委託費	310,364	113,272	417,558	152,393	416,103	151,862	446,148	162,828	212,300	▲ 49,472	445,550	162,609
医業外費用	144,558	52,758	125,222	45,701	174,739	63,773	167,891	61,274	161,514	▲ 100,240	182,294	66,531
うち支払利息	49,016	17,889	25,560	9,328	17,802	6,497	13,179	4,810	35,688	▲ 30,878	9,872	3,603
医業損益 (a-f) C	137,851	50,311	45,272	16,523	183,735	67,057	7,915	2,889	67,392	▲ 64,503	245,798	89,707
經常損益 (A-B) D	230,475	84,115	294,040	107,314	291,372	106,340	187,838	68,554	93,444	▲ 24,890	413,015	150,735
特別利益	200,120	73,036	200,120	73,036	200,084	73,023	200,447	73,156	8,793	64,363	738	269
うち他会計繰入金 i	200,000	72,993	200,000	72,993	200,000	72,993	200,000	72,993	1,054	71,939	0	0
特別損失	15,380	5,613	16,947	6,185	1,431,707	522,521	1,286	469	17,104	▲ 16,634	3,207	1,170
純損益 E	415,215	151,538	477,213	174,165	▲ 940,251	▲ 343,157	386,999	141,241	85,133	56,108	410,546	149,834
繰入前 医業損益 (C-d)	▲ 79,275	▲ 28,932	▲ 169,018	▲ 61,685	▲ 20,919	▲ 7,635	▲ 205,475	▲ 74,991	17,517	▲ 92,508	28,019	10,226
繰入前 經常損益 (D-d-e)	▲ 190,118	▲ 69,386	▲ 241,692	▲ 88,209	▲ 145,244	▲ 53,009	▲ 373,366	▲ 136,265	▲ 65,249	▲ 71,016	▲ 154,275	▲ 56,305
繰入金 (収益勘定) 計 d+e+i	620,593	226,494	735,732	268,515	636,616	232,342	702,147	256,258	159,747	96,511	506,961	185,022
資本的収入 (純計)	378,960	138,307	287,629	104,974	249,457	91,043	95,000	34,672	-	-	176,734	64,501
うち企業債	285,600	104,234	175,600	64,088	147,400	53,796	95,000	34,672	-	-	163,200	59,562
うち他会計繰入金 j	81,631	29,792	93,927	34,280	65,721	23,986	0	0	-	-	0	0
資本的支出 (純計)	881,670	321,777	962,517	351,284	720,552	262,975	590,366	215,462	-	-	474,123	173,038
うち建設改良費	159,398	58,174	206,216	75,261	185,426	67,674	104,742	38,227	-	-	177,862	64,913
うち企業債償還金	700,922	255,811	735,087	268,280	518,386	189,192	467,774	170,720	-	-	275,111	100,405
繰入金合計 計 d+e+i+j	702,224	256,286	829,659	302,795	702,337	256,327	702,147	256,258	159,747	96,511	506,961	185,022
減価償却前經常損益 D+h	497,780	181,672	568,740	207,569	585,191	213,573	455,200	166,131	264,939	▲ 98,808	646,990	236,128
經常収支比率 A÷B	104.3	-	105.4	-	105.3	-	103.3	-	103.4	▲ 0.1	107.1	-
医業収支比率 a÷f	102.6	-	100.8	-	103.4	-	100.1	-	102.6	▲ 2.5	104.4	-
職員給与費対医業収益比率 g÷a	54.0	-	56.1	-	53.7	-	52.4	-	56.9	▲ 4.5	49.6	-
他会計繰入金対医業収益比率 (d+e)÷a	7.8	-	9.9	-	7.9	-	9.2	-	15.7	▲ 6.5	8.6	-
不良債務額 (千円)	133,842	-	130,126	-	368,807	-	5,537	-	-	-	0	-
不良債務比率 (千円)	2.5	-	2.4	-	6.7	-	0.1	-	-	-	0.0	-
累積欠損金 (千円)	▲ 3,027,526	-	▲ 2,550,313	-	▲ 2,061,464	-	▲ 1,674,465	-	-	-	▲ 1,263,919	-
累積欠損金比率 (千円)	▲ 56.1	-	▲ 47.2	-	▲ 37.4	-	▲ 30.5	-	-	-	▲ 21.6	-

* 黒字病院：自治体病院のうち医業利益がある病院（805病院中51病院）

* 平成26年度より地方公営企業会計基準が変更となりましたので、適用前後で考え方が一部異なります。